

2026年5月31日（日）第1礼拝「見える世界、見えない世界」へブル11章1～3節

見える世界は、今私たちが住んでいる世界です。見えない世界は霊の世界です。霊には二つあり、創造主の霊(聖霊)と被造物の霊です。創造主である神様の霊がこの世界を造りました。被造物の霊は私たちの霊、天使の霊、悪魔の霊であり、悪魔は御言葉に逆らう霊です。

第一番目、見えない世界から見える世界が造られました。「信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り…見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。」(本文3節) 今は終わりの時代ですが、御言葉は様々な分野で正確な事実であるということが証明されています。量子力学では、観察者が観察をする時、粒子(物質)が現実化すると証明されています。すなわち、私たちの意識(霊的な視線)が物質を創造するということです。物質はいくら硬いものであっても、その原子を拡大すると、中身は空っぽの空間です。その空間を満たすのが、エネルギー(霊)、振動、情報です。ですから、物質には実態がないことが分かります。目に見えないものは永遠ですが、目に見えるものは一時的です。ですから、この目に見えない霊の世界に目を留めることが大切なのです。「私たちは、見えるものにではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。」(Ⅱコリント4:18)

第二番目、信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです(本文1節)。信仰とは、霊の世界を確信することです。つまり、御言葉(イエス様の約束)が既に私たちに実現されたと確信し、感謝して喜ぶことです。イエス様は二千年前に私たちの罪のために十字架で死んで、葬られ、三日目によみがえられました。私たちは心の弱さ、病、痛みを持っていますが、イエス様の十字架によって「私は癒された」と信じ、御言葉の約束が自分に実現されたと信じるのが大切です。御言葉の約束を信じ、祈って求めたものは既に受けたと信じるなら、その通りになります。これが霊の実態であり、信仰です。

第三番目、二心です。「…疑う人は風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。そのような人は、主から何かをいただけると思ってはなりません。」(ヤコブ1:6、7) 神様の約束を信じて疑うことなく、自分の願う通りになると信じ続けるのが大切です。太陽の光を凸レンズを通して黒い紙に一点に集中させると、黒い紙は燃え始めますが、その光が一点に集中せず、行き来するなら、黒い紙は燃えません。疑うことも同様で、信仰が揺れ動き、二心になります。サタンは「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか(創世記3:1)」と言って、アダムとエバに疑いを入れ、墮落させました。しかし、二番目のアダム(イエス様)は、御言葉によってサタンの疑いを追い出しました。私たちもまた、疑いの霊、不信仰の霊を追い出さなければいけません。悪魔は私たちに「本当に癒されたのか」と疑いを入れてきますが、私たちは「御言葉の通りに癒された、アブラハムの祝福を受けている」と信じ、宣言しましょう。このように、信仰とは、御言葉がすでにこの身になったと信じることなのです。アーメン！